

分布上顕著な新津の植物 (6)

石 沢 進

* 新津丘陵における新潟県絶滅危惧種の分布

新津丘陵における新潟県絶滅危惧種の分布を経年ごとに監視し、あらたに追加した種を記録している。本年はその6年目にあたり、現状を以下に表示する。

絶滅危惧 I 類 (EN)		01	02	03	04	05	06
マルバノサワトウガラシ	環境庁：EN						○
オミナエシ							
キキョウ	環境庁：VU						
トケンラン	環境庁：EN						
クマガイソウ	環境庁：VU						
絶滅危惧 II 類 (VU)							
タチシノブ							○
イノモトソウ						○	○
タニイヌワラビ							○
ハシゴシダ							○
ヒメカナワラビ							○
サネカズラ						○	○
ハンゲショウ			◎	◎		○	○
ヒゴスミレ							
カラタチバナ			○				○
ハイハマボス	環境庁：VU	○	○	○	○	○	○
ヤナギスブタ	環境庁：VU						
ヤマトミクリ	環境庁：VU	○	○	○	○	○	○
エビネ	環境庁：VU						○
キンラン	環境庁：VU				○		
ホクリクムヨウラン		○	○			○	○
ヒトツボクロ			○	○		○	○
準絶滅危惧 (NT)							
ウラジロ		○			◎		
ミズワラビ				○	○		○
オオバノハチジョウシダ		○		○	○	○	○
ツルデンド		○		○	○	○	○
コシノカンアオイ		○	○	○	○	○	○
ヤガミスゲ				○	○	○	○
地域個体群 (LP)							
コバノヒノキシダ							○
アカガシ		○	○	○	○	○	○
ウラジロガシ		○	○	○	○	○	○
フユイチゴ			○	○	○		○
ミヤマフユイチゴ				○	○	○	○
ソヨゴ		○	○	○	○	○	○
ヒメヨツバムグラ		○	○	○	○	○	○
シラスゲ			○	○	○	○	○
その他絶滅危惧種対象種							
マツグミ							○
キクモ							○

◎確認情報による

* 新津丘陵における絶滅危惧種の分布追加

タチシノブ *Onychium japonicum* (Thunb.) Kunze. ホウライシダ科

新潟県絶滅危惧Ⅱ類 (VU) であり、これまで青海町歌 (池上・石沢 1996)、長岡市栖吉・羽茂町取立・真野町国分寺・金井町千種 (牧野 2000) に分布が記録されている。新津：秋葉一丁目秋葉山60mに分布を追加する (写真1)。詳細は14頁参照。

タニイヌワラビ *Athyrium otophorum* (Miq.) Koidz. イワデングダ科

新潟県絶滅危惧Ⅱ類 (VU) であり、新津の生育地は登坂裕一氏の発見である。県内では新発田市五斗蒔・弥彦山・米山・十日町市中子・糸魚川市姫川 (牧野 2000) などに記録されている。詳細は13頁参照。

ハシゴシダ *Thelypteris glanduligera* (Kunze) Ching. ヒメシダ科

新潟県絶滅危惧Ⅱ類 (VU) であり、新津の生育地は登坂裕一氏の発見である。詳細は13頁参照。

ヒメカナワラビ *Polystichum tsus-simense* (Hook.) J.Sm. オシダ科

新潟県絶滅危惧Ⅱ類 (VU) であり、県南西部の糸魚川平岩・小滝川沿い (牧野 2000) および黒姫山山麓 (石沢 1978) などに分布している。北では胎内市中条追分40m [IS-259410 ('91)] で分布を確認している。新津丘陵における分布を追加する (写真2)。

コバノヒノキシダ *Asplenium sarelii* Hook. チャセンシダ科

新潟県地域個体群 (LP) であり、新津の生育地は登坂裕一氏の発見である。詳細は14頁参照。

カラタチバナ *Ardisia crispa* (Thunb. ex Murray) DC. ヤブコウジ科

カラタチバナの新潟県絶滅危惧の地域個体群であり、新津丘陵におけるその分布については、新津公園に確認して報告した (石沢 2003) が、その個体は盗採された可能性が高く、その後確認していない。しかし、丘陵の金津地域で新たに生育を確認したので、分布地点を追加する。金津地域では2箇所分布し、果実を多数つけた個体も生育している (20・22頁参照)。なお、本種の新潟県における分布については、佐渡の各所に点在しているが、越後では少なく、国上山・出雲崎町・糸魚川市に分布の記録があり (笹原 1986)、また柏崎にも分布している (藤田 2006)。

マルバノサワトウガラシ *Deinostema adenocaulum* (Maxim.) Yamasaki ゴマノハグサ科

新潟県絶滅危惧Ⅰ類 (EN) ; 環境庁絶滅危惧ⅠB類 (EN) であり、新津地区蒲ヶ沢での分布は石田真也氏の発見である (写真3)。後記のように本種は、県内では下越の平野部に点在している (写真4)。

エビネ *Calanthe discolor* Lindl. ラン科

新潟市小口：IS- ('06 Photo 061119-11~15)

野生ランの趣味家により、自生種が乱獲されることが多く、絶滅しないように保護しておきたいものである。新津地区での分布は再確認である (写真5)。

マツグミ *Taxillus kaempferi* (DC.) Danser ヤドリギ科

本種は、新潟県の絶滅危惧種として取り上げていないが、県内稀産であって改訂時には追加すべき種である。秋葉山には以前に生育が記録されている。しかし、その後の生育が確認できないでいたが、2006年に飯口晃氏が秋葉山のアカマツの枝に一個体だけ半寄生していることを発見した (写真6)。その生育を確認し、さらに他のアカマツの枝にも多数寄生しており、現在でも健全であることが明らかとなった。詳細については24頁に掲載。

キクモ *Linnophila sessiliflora* Blume

ゴマノハグサ科

本種も新潟県の絶滅危惧種として取り上げていないが、個体数が減少して絶滅が危惧される一種とみなされる。新津で初めて確認されたので、絶滅危惧種に含めてここに追加する(写真7)。しかし、マルバノサワトウガラシ同様に、水田の減反により、分布が拡大しているようでもあり、各地の調査が必要である。

*新津丘陵における新産種

2006年の調査で新津丘陵に新たな分布の追加を以下に掲載する。

[略号] IS:石沢の標本; TY:登坂裕一、IS・TY-後の数字は標本番号で新津資料室に保管; ('06):2006年の標本採集年あるいは写真撮影年; Photo:写真資料; Photo-後の数字は写真ネガ番号あるいはデジカメ撮影番号; [8桁の数字など]:地形図座標(環境省3次メッシュマップあるいは5万分一地形図番号)

[在来種]

タチシノブ *Onychium japonicum* (Thunb.) Kunze

ホウライシダ科

新津:秋葉一丁目秋葉山 60m:IS-413735 ('06 IS- Photo 061025-18~20,3649-10~13) [新津 5639-51-41] (写真1)

タニイヌワラビ *Athyrium otophorum* (Miq.) Koidz.

イワデンドコ科

新津:秋葉三丁目 70m:TY-30609 ('06,IS-413787 Photo 061029-1~3,3650-1~3) [新津 5639-51-31 (391375-33)]

ハシゴシダ *Thelypteris glanduligera* (Kunze) Ching

ヒメシダ科

新津:小口 70m:TY- ('06,IS-414150 Photo 061218-1~8,15~18,3678-0A~9A) [新津 5639-51-40 (391375-33)]

ヒメカナワラビ *Polystichum tsus-simense* (Hook.) J.Sm.

オシダ科

新津:金津白玉の滝上 50m:IS-418592 ('06 Photo 061010-8,9,061113-1,2,3645-6~8) [新津 5639-40-89] (写真2)

コバノヒノキシダ *Asplenium sarelii* Hook.

チャセンシダ科

新津:秋葉三丁目 40m:TY-30613 ('06,IS-413788 Photo 061029-6~8,3650-21~24) [新津 5639-51-40 (391375-33)]

マルバハギ *Lespedeza cyrtobotrya* Miq. マメ科

新津:秋葉秋葉湖 30m:IS-413451,413483 ('06 Photo 060927-7,8,9,M061003-1~5,3642-0A~3A) [新津 5639-51-31] (写真8)

本種は、道路の法面緑化など工事による移入の可能性が高い。

ヤブツルアズキ *Vigna angularis* (Willd.) Ohwi et Ohashi var. *nipponensis* (Ohwi) Ohwi et Ohashi マメ科

新津:秋葉秋葉湖 30m:IS-413452 ('06 Photo 060925-10,11,M061003-6,7,3642-5A,9A) [新津5639-51-31] (写真9)

マルバノサワトウガラシ *Deinostema adenocaulum* (Maxim.) Yamasaki ゴマノハグサ科

新津:蒲ヶ沢 3m:石田真也 ('06 IS-412378,久原泰雅写真 9月19日・10月13日,IS-Photo 3646-1~10) [新津 5639-50-18] (写真4参照)

県内における本種の分布は、水田の減反により、拡大しているようでもあり、各地の調査が必要である。これまで県内での確認地域(2005年以前旧地名)は以下のようである(分布図1、および写真4参照)。

新発田市江口 新発田川 36m:IS-400609 ('04 Photo 3224-19~25) [新発田 5639-63-70]

新発田市法生橋 18m:IS-400672 ('04 Photo 3225-8~11) [新発田 5639-62-76]

新発田市中谷桑ノ口 新発田川 6m:IS-401008 ('04 Photo 3226,7) [新発田 5639-72,76]; 福島(旧豊浦町)

福島潟:鷺尾和行 ('06 IS-414221) [新発田5639-62-81]

北蒲原郡紫雲寺町下ニツ山 6m : IS-40102

8・401038 ('04 Photo 3226-12・13・16~23)

[新発田 5639-72-93]

北蒲原郡笹神村村岡 8m : IS-331792 ('98) ;

20m : IS-331837 ('98 Photo 1898-9) [新

発田 392376 [新発田 5639-62・22,392376-11 (21)]

新潟市新津蒲ヶ沢 3m : 石田真也 ('06 久原

泰雅写真 9月19日・10月13日, IS-413608, Photo

3646-1~12) [新津 5639-50-19]

西蒲原郡吉田町上河原上組 (西川沿い) 10m :

IS-332853 ('98) [三条 384374-24 (22)]

(石沢 2002)

西蒲原郡分水町長崎 8m : IS-350198 ('00

Photo 2179-20~22) [三条 5638-36-78,5638

-36-96,384374-24 (24)]

佐渡市小佐渡地域 : IS-412126・413315 ('06

Photo 060826-68~68) [赤泊 5638-73-02]

キクモ *Limnophila sessiliflora* Blume

ゴマノハゲサ科

新津 : 蒲ヶ沢 3m : 久原泰雅 ('06 IS-413607,

Photo 061013-2・3,3646-10・11) [新津

5639-50-18] (写真7参照)

[帰化植物]

アメリカタカサブロウ *Eclipta alba* (L.) Hassk

キク科

新津 : 程島 20m : 石川典子 ('06 IS-Photo 3660-25A~27A) ; 程島 (西島) : 石川典子 ('06 11 11) ; 西島 ('06

11 13) : 石川典子 ('06 11 13) ; 山谷 : 石川典子 ('06 11 13) ; 古田 (がんばらの里) : 石川典子 ('06 11 22) ;

大鹿 : 石川典子 ('06 11 22) ; 上戸上組 (小合小学校脇) : 石川典子 ('06 11 22) ; 七日町 (踏切左線路脇) :

石川典子 ('06 11 22)

在来のタカサブロウを金津20mの水田で確認した (写真10) が、丘陵に接する水田に、帰化種のアメリカタカサブロウが広く生育しているようである (写真11)。

文献

藤田 進 (2006) 新潟県におけるヤナギイノコズチとカラタチバナの分布新潟植物資料室年報 2005 : 28-29

池上義信・石沢 進 (1996) 新潟県植物分布資料 (16) 新潟県植物分布図集 第17集 : 128

石沢 進 (2004) 分布上顕著な新潟の植物 新潟植物資料室年報 2003 : 2

笹原 治 (1986) カラタチバナ 新潟県植物分布図集 第7集 : 283-284.



図1 マルバナサウトウガラシの新潟県における分布

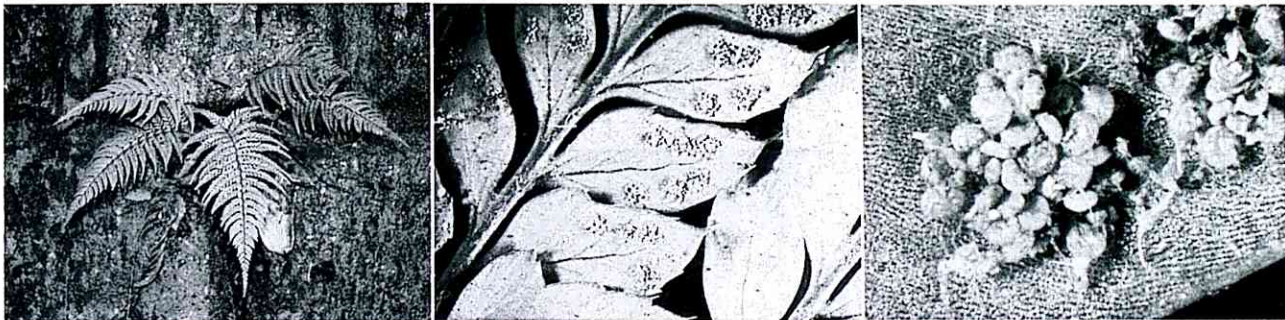


1-1 生育地

1-2 葉裏

1-3 孢子囊

写真1 タチシノブ 秋葉一丁目秋葉山 60m (Oct.25,2006)

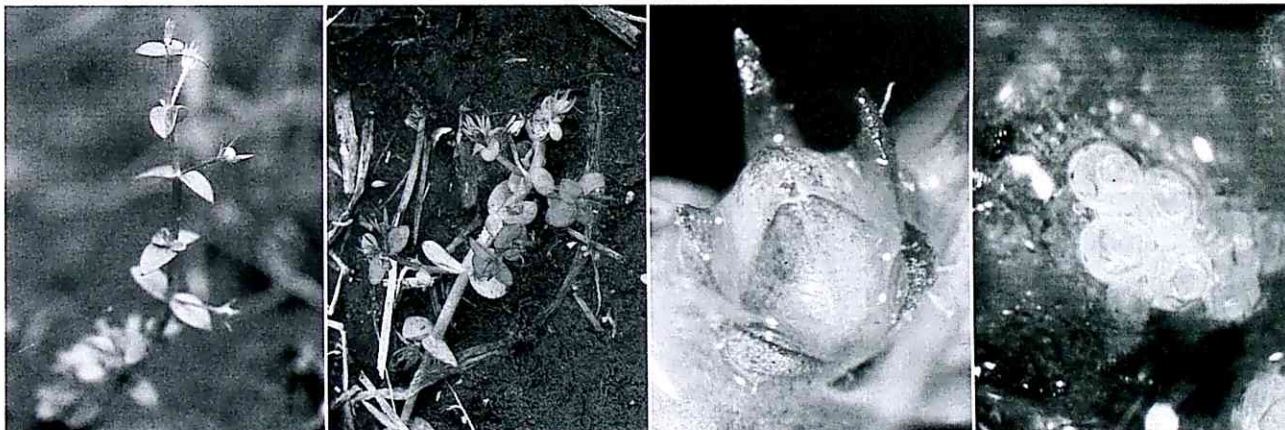


2-1 生育地

2-2 葉裏

2-3 孢子囊

写真2 ヒメカナワラビ 金津白玉の滝上 50m (Oct.10,2006)



3-1 生育状態 (Sept.19,2006)
(久原泰雅氏撮影)

3-2 生育状態 (Oct.13,2006)
(久原泰雅氏撮影)

3-3 果実 (Oct.13,2006)
(×32で撮影)

3-4 種子 (Oct.13,2006)
(×90で撮影、未熟)

写真3 マルバノサワトウガラシ 蒲ヶ沢 3m



4-1 新発田市江口 36m
(Oct. 3, 2004)



4-2 紫雲寺下ニツ山 6m
(Oct.11,2004)

写真4 マルバノサワトウガラシ (新津以外の生育地)



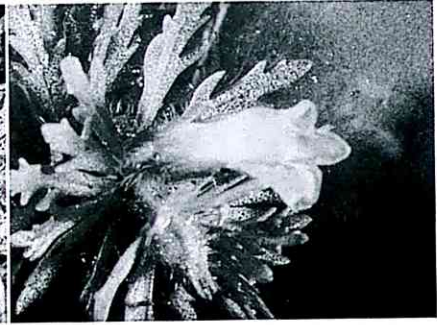
写真5 エビネ
新潟市小口 (Nov.19,2006)



写真6 マツグミ 新潟市秋葉山 (飯口晃氏撮影 Oct.23,2006)



7-1 生育状態

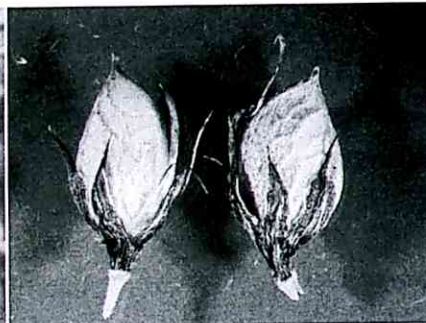


7-2 花

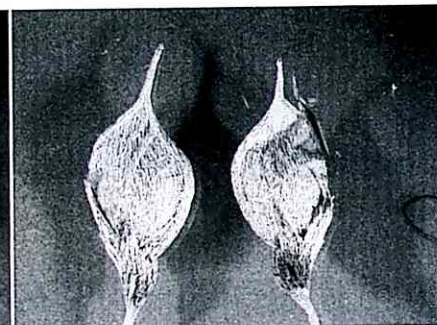
写真7 キクモ 新潟市蒲ヶ沢 3m (Oct.13,2006)



8-1 生育状態



8-2 果実 (×7で撮影)

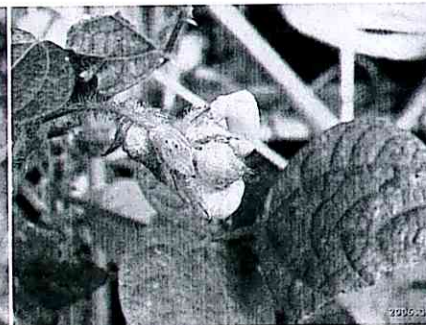


8-3 ヤマハギ子果実 (×7で撮影)

写真8 マルバハギ 秋葉秋葉湖 30m (Oct. 3,2006)



9-1 生育状態



9-2 花部拡大

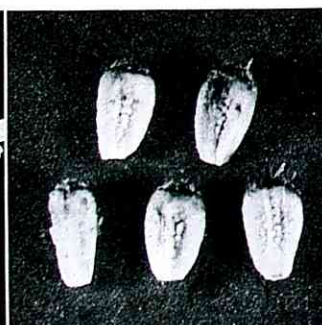


9-3 種子 (×7で撮影)

写真9 ヤブツルアズキ 秋葉秋葉湖 30m (Oct. 3,2006)

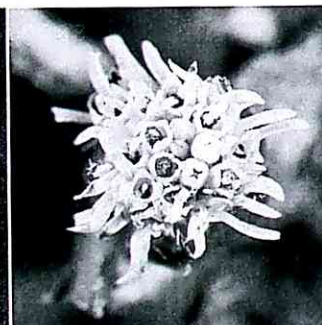


10-1 頭花

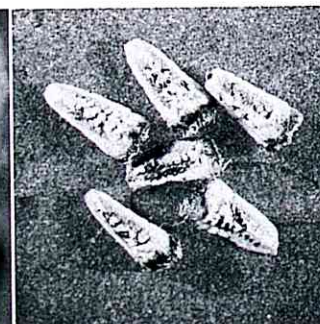


10-2 果実 (×10で撮影)

写真10 タカサブロウ 新津金津 20m (Nov. 9,2006)



11-1 頭花



11-2 果実 (×10で撮影)

写真11 アメリカタカサブロウ 新津中村 (石川典子氏採集 Nov.11,2006)